

編集後記

『年報 太宰府学』第五号をお届けします。今号も、論文三本、研究ノート一本を掲載することができました。

まず、井上氏の論考は、近年、同氏が精力的に進めておられる大宰府条坊復元について、あらためてその基礎的な情報を整理、検討されたものです。また、八尋氏の論考は、前号に引き続き、九州内の仏像遺品のひとつである対馬太平寺の木造地藏菩薩坐像を取りあげ、その体内銘文の全貌を紹介、検討されています。岡寺氏の論考も、同氏の問題関心に基づいて、宝満山近世墓碑銘の網羅的な調査によって、墓地和坊跡との関係を検証されたものです。さらに朱雀氏の論考は、蒙古襲来直前、来日した使節遺良彌に宛てた南浦紹明の詩文について、いまだ錯綜している解釈を整理し、再検討されたものです。いずれも九州、太宰府に関わる意欲的な論考ばかりです。玉稿をお寄せいただいた執筆者の方々に篤く御礼申し上げます。

また、資料室の日常業務の中から高原（日）家文書目録、また今川了俊関係文献目録も併載いたしました。

さて、第五号の編集を終えてあらためて顧みてみますと、わたくしたちが当初、この『年報 太宰府学』創刊時に目指した太宰府学の構築が徐々に形を成してきたという思いを強くします。同時に、さまざまにお支えをいただいているみなさんの期待に応えるべく、編集・刊行に携わっている側として身の引き締まる思いも感じています。

今後とも相変わります、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
(T)

年報太宰府学 第五号

発行日 平成23年3月31日

編集 太宰府市市史資料室

発行 太宰府市

〒81-8101

太宰府市観世音寺1丁目1号

電話〇九二一九二一一二二

Email: city-shissho@city.dazaifu.jp

印刷 株式会社博多印刷

〒81-2100

福岡市博多区猿鳴町八番五号

電話 〇九二一八一一〇四